



大久保病院だより

C型慢性肝炎

これからは治る病気に

消化器内科 鈴木智彦

国内感染者200万人 その半数近くが感染に気が付かず

国内にはC型肝炎ウイルスに感染している方がおよそ200万人いると言われていています。そのうちのおよそ40%の方は自分が感染していることに気がつかず、必要な検査や治療を受けることなく生活しています。また高齢になるほど感染率は高く、60歳以上の方のおよそ1%がC型肝炎に感染しているとも言われています。

感染経路には、出産時の母子感染、輸血、血液製剤の投与、臓器移植、適切な消毒をしない器具を使っただけの医療行為、民間療法、入れ墨、ピアスの穴あけ、麻薬、覚せい剤の注射、感染者との性交渉、カミソリや歯ブラシの共用などがあります。

感染を放置すると肝硬変や肝臓がんに進展

C型肝炎ウイルスに感染するとおよそ70%の方が持続感染者となり、慢性肝炎、肝硬変、肝臓がんへと病気が進行していきます。自覚症状がないことも多く、採血で肝機能が正常値であっても病気が進むことがあります。当然病気も進むと治療が難しくなっていきます。

3か月の内服で95%が治癒

C型肝炎の治療ですが、以前はインターフェロンの注射が中心で治療期間が長い上に副作用も多く、その効果も決して高いとは言えませんでした。

しかし昨年からは新薬が続々登場し、治療はめざましい発展を遂げています。現在は一部の方を除いて3か月内服するだけで95%以上が治るようになりました。また軽度の肝硬変の方にも適応があり、肝臓がんの予防に貢献できることが期待されています。

非常に高価なお薬ではありますが、医療費助成制度があり、ほとんど自己負担なく治療することが可能です。

気になる方はぜひこの機会に検査を受け、
必要に応じて治療されることをお勧めいたします。

救急外来

看護師 米澤麻美

救急外来は、主に救急隊からの救急患者受入を中心に、当日急な体調不良や治療が必要な患者を受け入れて一時的な診療を行う場所となっています。

当院は予約紹介制をとっている病院ですが、救急外来では24時間365日、患者からの問合せに対応出来るよう態勢を整えています

平日日中は救急隊からの搬送患者を中心に診療する医師の他に、救急当番の医師が交替で診療を行い、夜間は当直制で診療を行っています。夜間は当直医師の専門性が限られている為、お受けできない症状もあるので御理解いただき、緊急でない場合は是非、予約を取って受診をして頂くようお願い致します。

また患者の状態に応じて「院内トリアージ」を実施して緊急性を判断し、具合の悪い方・状態の悪い方が速やかに治療や処置が受けられるよう対応すると同時に、患者や家族の不安や苦痛にも向き合っており対応しております。緊急性の高い患者を優先する為、来院順番での診療ではない事も合わせて御理解のほどお願い致します。



緩和ケア認定看護師

緩和ケア認定看護師の仕事 藤本和美

「緩和ケア認定看護師です」と挨拶すると、終末期ケアの専門と誤解される方もいます。しかしながら「がん」と告げられたその時から、患者さんの身体と心のサポートをするのが緩和ケアです（近年は、告知される前からの緩和ケアとされています）。

がんの早期から終末期までを患者さんだけでなく、そのご家族の様々な「つらさ」を和らげ、生活の質の維持向上に努めながら「本当にしたい事」を共に探し、意思決定を支え、患者さんに伴走するようにサポートしていくのが緩和ケア認定看護師の仕事です。



<主な活動内容>

- * 身体症状のコントロール（疼痛、呼吸困難、嘔気・嘔吐、倦怠感、浮腫、腹満感など）
- * 心のつらさに対するケア（スピリチュアルケア）
- * 患者さんの療養に対する意志決定支援
- * 療養場所の決定を含めた退院支援
- * 家族ケア
- * 緩和ケアに関わる医療スタッフのサポートと教育

今後も多職種と連携しながら、患者さんとそのご家族を支えていきます。



公益財団法人 東京都保健医療公社

大久保病院

〒160-8488

東京都新宿区歌舞伎町2-44-1

TEL 03-5273-7711(代表)

URL <http://www.ohkubohospital.jp>

